

芦別市における景気動向調査報告書

《令和８年第Ⅱ四半期》

芦別商工会議所経済地域振興委員会

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 令和８年７月１日
- (2) 調査対象期間 令和８年４月から６月期実績及び令和８年７月から９月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象及び調査方法

- (1) 調 査 対 象
『令和６年度特定商工業者名簿』に掲載されている事業者の中から、製造業２０事業者、建設業２０事業者、卸売業６事業者、小売業３４事業者、サービス業２０事業者の５業種１００事業者を対象とした。
- (2) 調 査 方 法
調査対象に対して調査票をＦＡＸで送付し、ＦＡＸにより回答をいただいた。

3. 業種別回答状況（事業者数）

業種 \ 事業者数	対象事業者数	回答事業者数	回 答 率
製 造 業	20 事業者	8 事業者	40.0 %
建 設 業	20 事業者	4 事業者	20.0 %
卸 売 業	6 事業者	2 事業者	33.3 %
小 売 業	34 事業者	19 事業者	55.9 %
サービス業	20 事業者	4 事業者	20.0 %
合 計	100 事業者	37 事業者	37.0 %

※ 本調査報告書中の「D I」値 とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ．概況 《全体の動き》

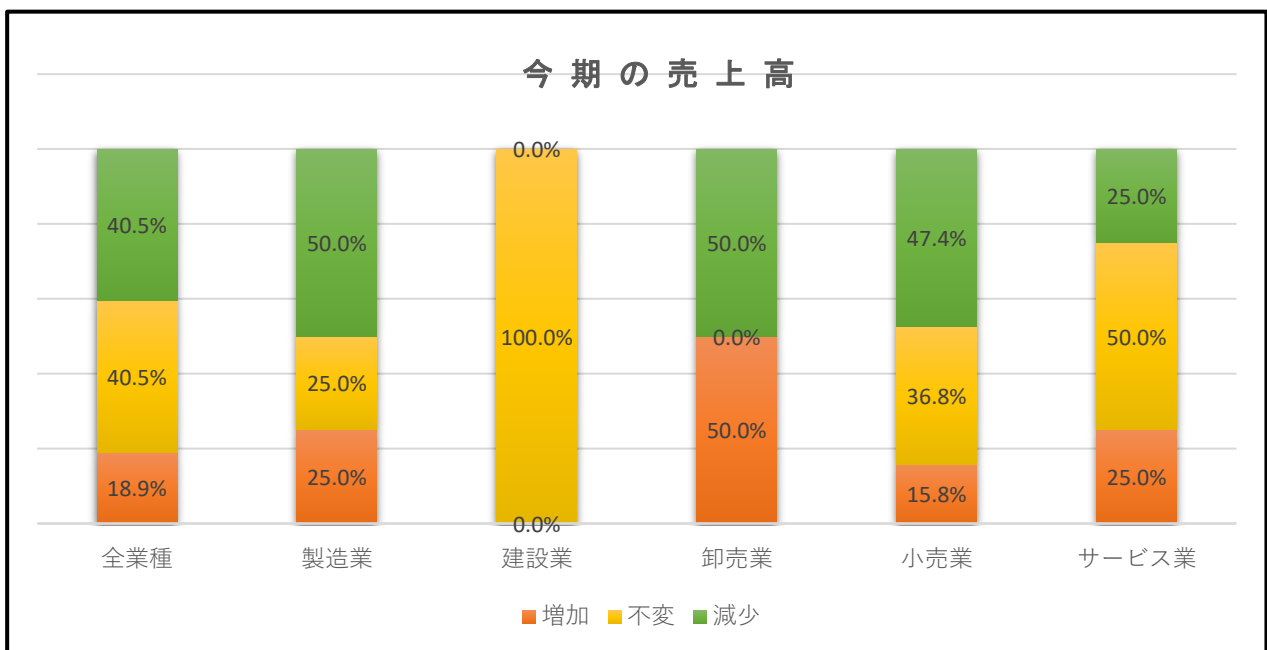
令和8年第Ⅱ四半期（4月～6月）の芦別市における売上高（製造業は生産高、建設業は工事完成高）は、全業種で見ると前年同期比で「増加した」と答えた事業者の割合が18.9%、「減少した」と答えた事業者の割合が40.5%で、「増加」から「減少」を差し引いたD I 値は△21.6となっております。来期（7月～9月）売上高の見通しを全業種で見ると、「増加する」と答えた事業者の割合が27.0%、「減少する」と答えた事業者の割合が29.7%で、D I 値は△2.7となりました。

また、経営課題としては、全業種において「経費の増加」、「人材・人手不足」、「顧客需要の停滞・変化への対応」、「事業設備の不足・老朽化」、「その他」といった回答があり、1位となった回答は「経費の増加」で、2位となった回答は「人材・人手不足」であることから、引き続き物価高騰の影響と人手不足が大きな課題となっています。

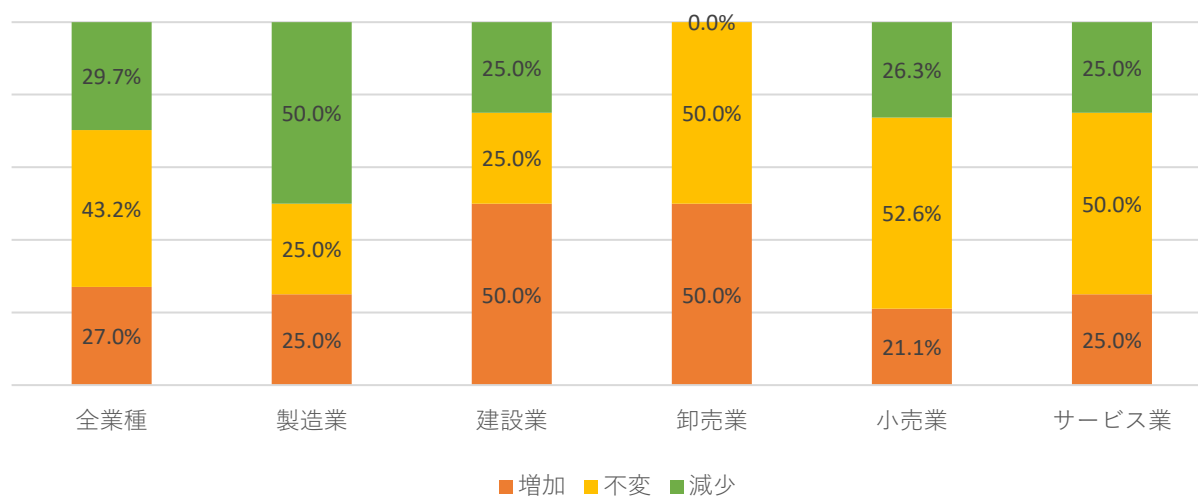
業種別D I 《売上高》

売上高（%）	今期（令和8年4月～6月）の実績 （前年比）				令和8年7月～9月の見通し （今期比）			
	増加	不変	減少	D I 値	増加	不変	減少	D I 値
全業種	18.9	40.5	40.5	△21.6	27.0	43.2	29.7	△2.7
製造業	25.0	25.0	50.0	△25.0	25.0	25.0	50.0	△25.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0
卸売業	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
小売業	15.8	36.8	47.4	△31.6	21.1	52.6	26.3	△5.3
サービス業	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0

※ 製造業は「生産高」、建設業は「工事完成高」を示す。



来期の売上見通し



業種別D I 《資金繰》

資金繰 (%)	今期 (令和8年4月～6月) の実績 (前年比)				令和8年7月～9月の見通し (今期比)			
	好転	不変	悪化	D I 値	好転	不変	悪化	D I 値
全業種	5.4	75.7	18.9	△ 13.5	5.4	78.4	16.2	△ 10.8
製造業	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	25.0	50.0	25.0	0.0
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	△ 25.0
卸売業	0.0	50.0	50.0	△ 50.0	0.0	50.0	50.0	△ 50.0
小売業	5.3	73.7	21.1	△ 15.8	0.0	94.7	5.3	△ 5.3
サービス業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	△ 25.0

《業種別の動き》

① 製造業

生産高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は25.0%、「減少した」と答えた事業者の割合は50.0%で、D I 値は△25.0となりました。来期の見通しでは、「増加する」と答えた事業者の割合が25.0%、「減少する」と答えた事業者の割合が50.0%、D I 値は△25.0となっており、来期についても今期同様に厳しい状況が続く予測しています。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は12.5%、「悪化した」と答えた事業者の割合は25.0%で、D I 値は△12.5となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が25.0%、「悪化する」と答えた事業者の割合が25.0%、D I 値は0.0となっており、資金繰りについてはいく分改善が図られると予測しています。

② 建設業

工事完成高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は0.0%、「減少した」と答えた事業者の割合は0.0%で、D I 値は0.0となりました。来期の見通しでは、「増加する」と答えた事業者の割合が50.0%、「減少する」と答えた事業者の割合が25.0%、D I 値は25.0となっており、来期については改善が図られると予測しています。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は0.0%、「悪化した」と答えた事業者の割合は0.0%で、D I 値は0.0となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が0.0%、「悪化する」と答えた事業者の割合が25.0%、D I 値は△25.0となっており、資金繰りについては厳しい状況になると予測しています。

③ 卸売業

売上高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は50.0%、「減少した」と答えた事業者の割合は50.0%で、D I 値は0.0となりました。来期の見通しでは「増加する」と答えた事業者の割合が50.0%、「減少する」と答えた事業者の割合が0.0%、D I 値は50.0となっており、来期については増加に転じると予測しています。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は0.0%、「悪化した」と答えた事業者の割合は50.0%で、D I 値は△50.0となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が0.0%、「悪化する」と答えた事業者の割合が50.0%、D I 値は△50.0となっており、資金繰りについては厳しい状況が続くと予測しています。

④ 小 売 業

売 上 高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は15.8%、「減少した」と答えた事業者の割合は47.4%で、D I 値は△31.6となりました。来期の見通しでは、「増加する」と答えた事業者の割合が21.1%、「減少する」と答えた事業者の割合が26.3%、D I 値は△5.3となっており、来期についてはいく分改善が図れるものの厳しい状況が続くと予測しています。

資 金 繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は5.3%、「悪化した」と答えた事業者の割合は21.1%で、D I 値は△15.8となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が0.0%、「悪化する」と答えた事業者の割合が5.3%、D I 値は△5.3となっており、資金繰りについても改善は見られないと予測しています。

⑤ サービス業

売 上 高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は25.0%、「減少した」と答えた事業者の割合は25.0%で、D I 値は0.0となりました。来期の見通しでは「増加する」と答えた事業者の割合が25.0%、「減少する」と答えた事業者の割合が25.0%、D I 値は0.0となっており、来期についても変わらない状況が続くと予測しています。

資 金 繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は0.0%、「悪化した」と答えた事業者の割合は0.0%で、D I 値は0.0となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が0.0%、「悪化する」と答えた事業者の割合が25.0%、D I 値は△25.0となっており、資金繰りについては厳しい状況に転じると予測しています。

《業種別 経営上の問題点》

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 業 種	経費の増加	人材・人手不足	顧客需要停滞	設備老朽化等	その他
製 造 業	経費の増加	顧客需要停滞 設備老朽化等	人材・人手不足	同業等との競合	—
建 設 業	人材・人手不足	顧客需要停滞 設備老朽化等	—	—	—
卸 売 業	経費の増加	取引条件の悪化 取引先倒産等 人材・人手不足 その他	—	—	—
小 売 業	経費の増加	顧客需要停滞	人材・人手不足	その他	取引条件の悪化 取引先倒産等 設備老朽化等 後継者不在
サービス業	経費の増加	人材・人手不足	顧客需要停滞	取引先倒産等 設備老朽化等 同業等との競合	—

《後継者がいない場合の事業承継の検討》

回 答	件 数
事業承継の相談中	0 件
相談先：	うち 0 件
事業承継を検討したい	0 件
事業承継は考えていない	1 件
その他	0 件
	うち 0 件
合 計	1 件